



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



もちづき のりお
望月 則男 議員
(富岳会)

GIGA スクール構想について

問 不登校生徒などへの利用について伺う。

教育長 支援に ICT 機器を活用していくことは、担任や友人とコミュニケーションが取れるため、有効な支援の一つだが、オンライン授業による出席扱いについては、現時点での形態では、認めることが難しい状況である。

問 無線 LAN などの設備がない家庭に対しての考えについて伺う。

部長 Wi-Fi 機器を市で購入し無償で貸し出し、通信費用については各家庭で負担いただくことになる。近くの親戚などでインターネット通信回線をお借りすることや、学校の一部を開放して使用することも検討している。

防災や市民サービスの向上の観点から ICT 環境に対する富士宮市の考えについて



すずき ひろむ
鈴木 弘 議員
(政経会)

デジタル変革による住みやすく持続可能なまちづくり～デジタルトランスフォーメーションを目指して～

問 デジタル変革について総合的にどう取り組んでいくのか伺う。

部長 令和3年度は第6次富士宮市情報計画を策定する。この策定作業において、デジタル変革について研究、議論を深め、富士宮市としての方向性を見いだしていきたい。

問 行政経営的な観点からはどうか。

部長 市民サービスの向上の点では行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済の推進などが代表的と考えられる。行政内部の点では AI(人工知能)や RPA※1 を活用した業務の効率化、電子決済やウェブ会議の導入などがある。しかし投資的経費や維持費が大きいと想定されるため国の動向など注視しつつ推進していく。

問 学校体育館などが避難所になっていることから、学校と市役所とで同様のシステムを使うことを提案するが、いかがか。

部長 学校では、児童生徒が1人1台端末を体育館での学習活動で活用することを想定し、学校体育館にも Wi-Fi 環境を整える予定。いざというときに市民が情報を得るためのオンライン環境を整えておくことも重要と捉えているため、非常時にはフリー Wi-Fi 環境に切り替え、避難者が各自の端末につなぐこともできるよう整備する予定である。基本的には児童生徒が学習に活用することを想定しているが、避難所の運営で必要な場合には、柔軟に対応していきたいと考えている。

問 ICT 専門官を置くことはいかがか。

部長 本市においては ICT 専門官を配置することは考えていない。事務事業を全体から見渡し、検証していかなければならない事案だと考えており、民間事業者への委託など、総合的な対応を行うことができる方法を検討している。

問 デジタル変革は地方分散型社会を招くと予測され、チャンス到来といえる。市はデジタルマーケティングを行いアピールしているがそれ以上のことが望まれる。どう考えるか伺う。

部長 SNS を活用し、本市の魅力若者世代や子育て世代に向けて発信し、関係人口の創出を図り、LINE 登録による富士宮市のファンを増やしていく取組を始めたい。さらに、テレワークやワーケーションの推進、サテライトオフィスの誘致などを実現していくため調査業務に取り組む。

道路上の枯れ木処理

問 ナラ枯れが進行し道路の脇で枯れているものもある。どう処理されるのか伺う。

部長 樹木は財産として扱われるので、所有者に対し除去や切除の依頼をしている。

問 所有者が切れないと言った場合、市で切らせてもらえないのか。

部長 粘り強く土地所有者にお願いしていく。

※ 1…ロボティック・プロセス・オートメーションの略。定型事務等を自動処理すること。